

# 環境活動レポート 2020

レポートの対象期間：2019.4.1～2020.3.31



大笠山山頂より笈ヶ岳・白山を望む  
(平成25年8月)

令和2年7月



安達建設株式会社

# 目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境方針
4. 環境目標
5. 環境活動計画
6. 環境目標の実績
7. 環境活動計画の取組結果とその評価
8. 次年度の取組内容
9. その他の取組
10. 環境関連法規等の遵守状況
11. 代表者による全体評価と見直しの結果

# 1. 組織の概要

## 1) 会社名及び代表者

安達建設株式会社 代表取締役 安達 正彦

## 2) 所在地

本社 富山県南砺市野田425番地の7  
上平支店 富山県南砺市西赤尾町808番地  
富山営業所 富山県富山市舟橋南町4番の2  
生コン工場 富山県南砺市下島103番地  
城端倉庫 富山県南砺市是安4506番地  
上平倉庫 富山県南砺市西赤尾町565番地

## 3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 常務取締役 得永 武司  
担当者 工事部建築課長 渡邊 俊彦  
担当者連絡先 電話 0763-62-0619 FAX 0763-62-3474  
E-mail toshi-watanabe@adachi-kensetsu.jp

## 4) 事業の内容

土木工事、建築工事、電気工事及び生コンクリートの販売

## 5) 事業の規模（令和2年6月30日現在）

- a. 工事件数 63件（令和元年度）
- b. 売上高 1,615百万円
- c. 従業員数 62人
- d. 延べ床面積 731.91㎡（本社事務所）
- e. 創業 明治30年5月1日（設立 昭和34年5月13日）
- f. 資本金 50,000,000円
- g. 建設業の許可 富山県知事許可 29-14310号  
土木工事業、建築工事業、大工工事業、とび・土工工事業、  
石工事業、屋根工事業、電気工事業、管工事業、  
鋼構造物工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業  
防水工事業、造園工事業、水道施設工事業、電気通信工事業

## 2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

### 1) 認証・登録番号

0003001

### 2) 取組の対象範囲

各事業所及び当社にて施工を行う建設現場全て

### 3) レポートの対象期間

平成31年4月1日(月)～令和2年3月31日(火)

### 4) 環境活動レポートの発行日

令和2年7月10日(金)

### 3. 環境方針

# 環 境 方 針

## ～理念～

安達建設株式会社は明治30年（1897年）の創業以来、建設工事を通じ地域の方々からの信頼の蓄積に努めてきました。現代社会において地球温暖化は全人類にとって避けられない問題となっています。当社は環境問題に取り組み、循環型社会の一員となる企業を目指します。

## ～基本方針～

1. 環境関連法規及び環境関連要求事項を遵守し、事業活動を行う。
2. 活動の経過、結果を公表し社会とのコミュニケーションを図る。
3. 以下に示す取り組みを行う。
  - 1) 事業活動による温室効果ガス排出量の低減に努める。
  - 2) 産業廃棄物の分別を行い、最終処分量の低減に努める。
  - 3) 総排水量の低減に努める。
  - 4) 建設工事における燃料消費量の低減に努める。
  - 5) グリーン購入による環境配慮型商品の購入に努める。
  - 6) 自らが施工・販売・提供するサービスにおける環境負荷の低減に努める。



改定 2015年4月1日

安達建設株式会社

代表取締役

安達 正彦



## 4.環境目標（2019年度）

安達建設株式会社  
エコアクション21事務局

2019年度環境方針に対し、環境目標を以下のように定める。

各環境負荷の数値目標

環境目標項目	環境負荷	年	基準値と目標値		削減量 (対基準年度)	2020 年度	2021 年度	
二酸化炭素 排出量の削減	電力	2015～2018実績	95,565	kwh		-0.5%	-0.5%	
		2019年度目標	95,087	kwh	-0.5%			
	軽油	2015～2018実績	84,209	ℓ		-0.5%	-0.5%	
		2019年度目標	83,788	ℓ	-0.5%			
	ガソリン	2015～2018実績	32,995	ℓ		-0.5%	-0.5%	
		2019年度目標	32,790	ℓ	-0.5%			
	灯油	2015～2018実績	4,496	ℓ		-0.5%	-0.5%	
		2019年度目標	4,474	ℓ	-0.5%			
	L P G	2015～2018実績	64.0	m <sup>3</sup>		-0.5%	-0.5%	
		2019年度目標	63.7	m <sup>3</sup>	-0.5%			
	廃棄物排出量 の削減	リサイクル 率	2015～2018実績	97.6	%		現状維持	現状維持
			2019年度目標	97.6	%	現状を維持		
水使用量	上水	2015～2018実績	272	m <sup>3</sup>		現状維持	現状維持	
		2019年度目標	272	m <sup>3</sup>	現状を維持			
	地下水	2015～2018実績	42,332	m <sup>3</sup>		現状維持	現状維持	
		2019年度目標	42,332	m <sup>3</sup>	現状を維持			
グリーン購入	適合品目 の調達数	2018年度実績	72.8	%		現状維持	現状維持	
		2019年度目標	72.8	%	現状を維持			

自らが施工・販売・提供する サービスに関する項目	水質検査（自主検査）	出荷日毎	検査・点検 等の継続
	水質検査（第三者検査）	年一回	
	重機の使用前点検	実施の呼び掛け	
	生コン車の洗浄方法の工夫	実施の呼び掛け	

※軽油・ガソリン・灯油については年度売上予測に応じた年度目標を設定しています。

基準値は2015年～2018年度の使用量の実績に売上高の予測による係数【1.0135】

を乗じた値としています。

※化学物質は使用しない為、目標設定を行いません。

## 5. 環境活動計画

安達建設株式会社

エコアクション21事務局

2019年度環境目標に対し、環境活動計画を以下のように定める。

環境負荷		取組内容	2018年度実施	2019年度実施計画
二酸化炭素排出量	電力	昼食時及び不在時の消灯の徹底	○	社内教育の継続
		複合機の休日・夜間の電源OFF	○	
		No残業ディの実施	△	
冷房28℃、暖房20℃		○		
軽油 ガソリン	エコドライブ・相乗りの推進	○	社内教育の継続	
	アイドリングストップ推進	○		
	エコドライブ教育	○		
灯油 LPG	暖房20℃の徹底	○	社内教育の継続	
	給湯温度の見直し	○		
廃棄物	廃棄ボックス	分別排出の励行	○	社内教育の継続
		生コン スラッジ	○	
	一般 廃棄物	空き缶のリサイクル	○	倉庫に集積、リサイクルへ
		古紙のリサイクル	○	本社及び倉庫へ集積、リサイクルへ
水	上水	節水型便器への改修	○	社内教育の継続
		節水の励行	○	
地下水	プラント及び生コン車の 洗浄方法の工夫	○	計器類の定期的な確認 節水の工夫の継続	
グリーン購入	グリーン購入の推進	○	購入時の配慮	
自らが施工・ 販売・提供する サービスに 関する項目	重機の使用前点検	○	継続	
	生コン車洗浄方法の工夫	○	継続	
その他	業務用エアコンの簡易点検	○	3ヶ月毎	
	道路愛護ボランティア	○	3回程度実施予定	
	環境上の緊急事態への対応訓練	○	1回程度実施予定	
	環境コミュニケーション	○	スタッフ会議の開催、環境活動レポートの発行及び公表	
	社員の意識向上	○	安全大会等で周知	

## 6. 環境目標の実績

項目		単位	2019年 目標	2019年 実績	対年度目標
二酸化炭素排出量	電力	使用量 (kWh/年)	95,087	89,861	—
		排出量 (kg-CO2)	60,856	57,511	94.5%
	軽油	使用量 (ℓ/年)	83,788	58,301	—
		排出量 (kg-CO2)	219,888	153,002	69.6%
	ガソリン	使用量 (ℓ/年)	32,790	27,345	—
		排出量 (kg-CO2)	76,127	63,486	83.4%
	灯油	使用量 (ℓ/年)	4,474	819	—
		排出量 (kg-CO2)	11,149	2,041	18.3%
	LPG	使用量 (m <sup>3</sup> /年)	63.8	16.0	—
		排出量 (kg-CO2)	172	43	25.1%
合計	排出量 (kg-CO2)	368,192	276,082	75.0%	
排水量	上水道	使用量 (t/年)	272	277	101.8%
	地下水	使用量 (t/年)	42,332	45,512	107.5%
産業廃棄物	リサイクル率 (%・年)	97.6	98.1	100.5%	
グリーン購入	購入比率 (%/年)	72.8	74.0	101.6%	
自らが施工・販売・提供するサービスに関する項目	水質検査実施	100%	100%	100.0%	

※黒文字は年度目標達成。赤文字は年度目標未達成。

※購入電力の排出係数は 0.64 を使用

※化学物質の使用はありません。



## 7. 環境活動計画の取組結果とその評価

環境負荷		取組計画	実施	実績 (目標値に対し)	評価
二酸化炭素排出量削減	電力	昼食時及び不在時の消灯の徹底	○	電力 -5,226 kWh	生コンクリートの予測を上回る出荷量がありましたが、生コン工場での電力消費量は横ばい、本社等その他事業所での消費量も削減することができ、目標値以内で収まりました。節電意識が浸透しております。
		複合機の休日・夜間の電源OFF	○		
		No残業ディの実施	△		
冷房28℃、暖房20℃		○			
軽油 ガソリン	エコドライブ・相乗りの推進	○	軽油 -25487L	工事の受注内容により大きく変化する項目ではありますが、年間の目標値を大きく下回った事はよかった。暖冬により、除雪作業に要する燃料が少なくなったのも要因です。	
	アイドリングストップ推進	○	ガソリン -5,445L		
	エコドライブ教育	○			
灯油 LPG LNG	灯油暖房機のこまめな停止	○	灯油 -3,655L	暖冬により、採暖養生等が少なかった事、本社・営業所給湯設備をガスから電気に変更したことから大幅に削減されました。	
	給湯温度の見直し	○	LPG -47.8m <sup>3</sup>		
			LNG 廃止		
廃棄物削減	廃棄ボックス	社内安全大会における周知	○	混合ボックス +79t (前年比)	建築改修工事等で分別しきれない内装材等が多く、増加となりました。
	生コンスラッジ	プラント及び生コン車の洗淨方法の工夫	○	スラッジ排出量 ±0 (前年比)	生コン工場からのスラッジ排出はありませんでした。
水使用量削減	上水	湯沸し室使用者への教育	○	水道使用量 +5m <sup>3</sup>	ほぼ横ばいです。
	地下水	プラント及び生コン車の洗淨方法の工夫	○	地下水使用量 +3,180m <sup>3</sup>	春先にポンプの故障もあり、1月、3月は冬季でも骨材採取を行ったことにより、増加となっています。
グリーン購入	エコマーク等商品の購入推進	○	+1.2%	意識向上により大きく変化することなく推移しています。	
自らが施工・販売・提供するサービスに関する項目	水質検査の実施（生コン工場）	○	実施	基準値を満足しています。	
	重機の使用前点検の実施	○	実施	実施されています。	
化学物質	化学物質の使用はありません。				

## 8. 次年度の取組内容

### 1) 取組内容と実施計画

環境負荷		取組内容	'19年度 実施	'20年 度取組	2020年度実施計画
二酸化炭素排出量の削減	電力	昼食時及び不在時の消灯の徹底	○	継続	社内教育の継続
		複合機の休日・夜間の電源OFF	○	継続	
		No残業ディの実施	△	継続	
		冷房28℃、暖房20℃	○	継続	
	軽油 ガソリン	エコドライブ・相乗りの推進	○	継続	社内教育の継続
		アイドリングストップ推進	○	継続	
エコドライブ教育		○	継続		
灯油 LPG	暖房20℃の徹底	○	継続	社内教育の継続	
	給湯温度の見直し	○	継続		
廃棄物の削減	産業 廃棄物	分別排出の励行	○	継続	社内教育の継続
		プラント及び生コン車の 洗浄方法の工夫	○	継続	スラッジ分別装置の活用
	一般 廃棄物	空き缶のリサイクル	○	継続	倉庫に集積、リサイクルへ
		古紙のリサイクル	○	継続	本社及び倉庫へ集積、リサイクルへ
水使用量の削減	上水	節水の励行	○	継続	社内教育の継続
	地下水	プラント及び生コン車の 洗浄方法の工夫	○	継続	計器類の定期的な確認 節水の工夫の継続
グリーン購入	事務用品の対象商品購入	○	継続	実施の呼びかけ	
自らが施工・販売・ 提供するサービス に関する項目	重機の使用前点検	○	継続	実施の呼びかけ	
	生コン車洗浄方法の工夫	○	継続	実施の呼びかけ	
その他	道路愛護ボランティア	○	継続	3回程度実施予定	
	環境上の緊急事態への対応訓練	○	継続	1回程度実施予定	
	環境コミュニケーション	○	継続	スタッフ会議の開催、環境活動レポートの発行及び公表	
	社員の意識向上	○	継続	安全大会等で周知	

2) 環境負荷の目標値

環境目標項目	環境負荷	年	基準値と目標値		削減量 (対基準年度)
二酸化炭素 排出量の削減	電力	2016～2019実績	77,616	kWh	使用量/売上 -0.5%
		2020年度目標	77,228	kWh	
	軽油	2016～2019実績	73,159	ℓ	使用量/売上 -0.5%
		2020年度目標	72,793	ℓ	
	ガソリン	2016～2019実績	28,689	ℓ	使用量/売上 -0.5%
		2020年度目標	28,546	ℓ	
	灯油	2016～2019実績	3,312	ℓ	使用量/売上 -0.5%
		2020年度目標	3,296	ℓ	
	L P G	2016～2019実績	51.3	m <sup>3</sup>	-0.5%
		2020年度目標	51.0	m <sup>3</sup>	
廃棄物排出量 の削減	リサイクル 率	2016～2019実績	95.1	%	現状を維持
		2020年度目標	95.1	%	
水使用量	上水	2016～2019実績	281	m <sup>3</sup>	現状を維持
		2020年度目標	281	m <sup>3</sup>	
	地下水	2016～2019実績	42,607	m <sup>3</sup>	現状を維持
		2020年度目標	42,607	m <sup>3</sup>	

グリーン購入	適合品目 の調達数	2019年度実績	74.0	%	現状を維持
		2019年度目標	74.0	%	

自らが施工・販売・提供する サービスに関する項目	水質検査 (自主検査)	出荷日毎
	水質検査 (第三者検査)	年一回
	重機の使用前点検	確実な実施
	生コン車の洗浄方法の工夫	実施の呼び掛け

※軽油・ガソリン・灯油については年度売上予測に応じた年度目標を設定しています。

基準値は2016年～2019年度の使用量の実績に売上高の予測による倍数【0.876】  
を乗じた値としています。

※電力使用量は生コン工場における生コンクリート出荷量予測に基づき、

目標設定をしています。(出荷量予測 1,300m<sup>3</sup>)

※化学物質は使用しない為、目標設定を行いません。

## 9. その他の取組



道路愛護ボランティア



当社安全大会における社内及び協力会社への教育



環境上の緊急事態への準備及び対応『緊急用土嚢及び油液処理キット』の常備

## 10. 環境関連法規等の遵守状況

- ・環境関連法規への違反、行政からの指摘、関係者からの訴訟等はありませんでした。

## 11. 代表者による全体評価と見直しの結果

毎年、工事内容気象などの条件の違う中で取組んでいるが、今年度についても暖冬などの影響により、電気量、軽油等の目標達成を達成した。本質的には違和感があるが、目的である「環境負担の軽減」については社員へ浸透していると感じている。

令和 2年7月10日

安達建設株式会社

代表取締役 安達 正彦